

町「新たに5000万円未納金判明」と発表

着服額未だ解明されず？

甲良町議会9月定例会の最終日(21日)、追加議案に伴い全員協議会が開かれ、開会・5日に発表された「新たに5000万円の未納金判明」について質疑が交わされました。税務課の説明によると、未納者リストの約6千件のデータにかかわる金額だと言います。質疑の中で、税務課の人事異動後、そのデータは「着服に関係ない」として精査していなかったことが判明。★約6千件未納者データとは、着服事件で税等の収納データが改ざんされ、未納金」の中にはK職員(当時)の着服額が紛れている可能性があることから前税務課長の下で精査されていたものです。

西澤議員は19日、山田裕康議員(全監査委員)と共に驚きと共に不信が広がる様相です。

今になって

未納金500万円？

町は、公金横領事件発覚以来、Kにより税務課の収納データが膨大な規模で改ざんされ、公金横領行為による未納」か「真の未納」か、と言う区分けの精査作業に取り組み、Kによる損害額の確定損害賠償請求にかかる監査委員の監査も終了させたはずですが、にもかかわらず今になって新たに約5000万円の未納金が判明したとは、とても理解できません。改めて解明が必要です。

税務課職員(当時)の公金

横領というとんでもない犯罪が発覚して早1年8カ月が経過しました。

不信は深まるばかり

刑事事件は判決により一応終結しましたが、着服による損害の未解決、甲良町行政における税金の収納済か未納かの判定における混乱、不納欠損処理の不明確さなど、税務への不信は解消されるどころか、ますます深まるばかりです。

甲良町議会9月定例会の開会前の議会全員協議会

(5日)において、平成27年度以前の未納金額が平成30年8月現在 約5000万円あると解った」と発表され、

被害額解明を

怠ったのでは？

その精査作業の途上では2千件データ消去事件、精査作業に取り組んでいく職員の配置転換「いずれも平成29年3月」などの事態が起き、これらを北川町政(当時)は軽視し、正常化させるまでもな検証も行わず、

むしろ不祥事を覆い隠すことに苦心していました。

未収金等にかかわる問題は、元職員の着服額を曖昧にせず、「未収金」と言う町の債権を確保し、税務行政の信頼回復がかかった重要な課題です。

そこで、下記の質問事項について明快で分かりやすくご回答いただきますようお願いいたします。

回答は

10月2日までに

なお、ご回答は全て書面にて10月2日までにお願いします。また、質問および貴職からのご回答は公開されませんので申し添えます。

記

1 この間説明している用語 事象およびそれらがどのように関連するののかの解説が必要です。① 大規模データに含まれる、② 大規模データに含まれないもの、③ 6千件未納者データ、④ 6千件未納者データ」は①②の中に含まれるものか、⑤それ

賛成9、反対1で可決

21日、職員の着服に関する第三者委員会に「公平公正な情報提供を求める決議」は賛成9反対1(宮崎議員)で可決しました。決議では、着服事件と延滞金返還事件に関し調査するにあたり、原則公開とするなど5項目を求めています。

甲良民報

2018年9月30日 741号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士 463 (西澤)
Tel : 38-4949 Fax : 38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875

◎日本共産党の見解を紹介いたします。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

デニー候補に期待

自営業・デザイナー **親富祖愛さん**



人権を尊重の沖縄に

私もデニーさんと同様に沖縄に米兵として駐留していた父親と沖縄生まれ・育ちの母親がいます。沖縄県知事候補のデニーさんは私にとって、初めてアフリカ系米大統領になったオバマ前大統領や、沖縄にルーツを持つハワイのイゲ州知事をほうふつさせます。

デニーさんを応援する理由は、私のような生まれのルーツを持って沖縄に住んでいる人たちが、「基地に反対すれば、親や米軍、自分を否定することになるのではないかとモヤモヤと悩まずに基地に反対するなど、自分の思うことを言う、自己肯定感を持つる沖縄をつくれる希望が持てるからです。

現在も、「アメリカー！」と差別的に呼ばれることがありますが、私の場合はコーカソイド、ネグロイド、ネイティブアメリカン、モンゴロイドのルーツを持つので「ハーフ」や「ダブル」との言葉で分類されることに疑問を持っています。

デニーさんが知事になることで、生まれのルーツなど、お互いの違いを気にせず生きられる社会、本当の人権の尊重を学び、勝ち取る沖縄に向かってほしいです。今の安倍政権下での差別を

- | | | | |
|--|--|--|---|
| <p>ら相互の関係性はどうか、①⑤についてそれぞれ明らかにすること。</p> <p>2 約5千万円の未納金」の個人別 個人名は求めない)、年度別、税目別の内訳表を明らかにすること。</p> <p>3 約5千万円の未納金」は監査委員に 監査に付す」資料中には含まれていなかったのか否か、含まれていなかった場合にはその理由を明らかにすること。</p> <p>4は省略」</p> <p>5 6千件未納者データについては、 公金横領の未納」とを区分する精査作業を行ったのか。行ったのであればその内の 真の未納」と横領額の</p> | <p>は判明したのか、未納者への催告数と未納額合計および横領件数と合計額を明らかにすること。</p> <p>6 そもそも6千件の未納者データの未納金額は合計幾らなのか、新たに判明したとする約5千万円はその中に含まれているものなのか。さらに平成29年度の不能欠損金額約1130万円は6千件の未納者データのの中の未納金の内から不能欠損処理した金額なのかを明らかにすること。</p> <p>7 平成29年度における不納欠損を課税年度別、税目別 町民税、固定資産税、国保税) および理由別内訳を明らかにすること。</p> | <p>8 9月5日議会全員協議会で示された資料6頁30・9・4付)の内、 監査請求で認定されなかった②の3404万6千715円については・・・町としても収納済みと考える」とは合理性に欠けると考えます。 税務課の収納システム改ざんはかなりの深刻な現状にかんがみ、システム上収納状態であれば・・・収納済み」と考えた根拠を、税目、年度別、個人別、納税者面談記録 交渉記録)等の精査作業とともに明らかにすること。</p> <p>9 上記とも関連して、中略」収納済みといえども) 着服の疑いが晴れたわけではない。</p> | <p>着服額とは無関係と判断した理由・根拠を明らかにすること。</p> <p>10 平成29年4月新たに配置された税務課長以下職員による公金横領事件に伴う被害額と 真の未納」との精査作業の詳細と作業結果を明らかにすること。</p> |
|--|--|--|---|

決算 賛成5、反対5 認定

平成29年度一般会計決算は、未納金・不納欠損のズサンさが明るみになり、賛成5(木村、阪東、田中、宮寺、岡田の各議員) 反対5(西川、野瀬、山田裕康、山田充、西澤の各議員) で丸山議長の裁定で可決となりました(欠席1名)。